

## 2019 年度事業報告

2019 年度は定款 4 条に定められた事業を下記の通り実施いたしました。

本協会が実施している助成事業（演劇関係者への助成金交付、海外研修者に対する助成、脚本家養成に対する助成）、普及事業（半額観劇会、学生対象の演劇教室）及び調査事業等の公益事業活動は充実し、演劇の振興と普及を図るという事業目的は達成いたしましたが、2020 年に確認されました新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の事業が中止においこまれました。

### I 助成事業

#### （1） 演劇関係者への助成金交付

演劇興行および演劇製作に寄与した団体または個人の功績をたたえ、表彰する助成金交付は、内外の推薦を受け、常務理事における審議の結果、本年度は下記の 3 氏および 1 団体が承認されました。表彰式は 2020 年 2 月 26 日（水）午後 2 時から、東京プリンスホテルに理事、監事、委員出席のもと、各表彰者に助成金と賞状を贈呈いたしました。

（受賞者と授賞理由）

##### ① 勝柴 次朗 殿

1968 年日生劇場スタッフとして照明操作に携わって以来半世紀以上に亘り舞台照明の世界で活躍してこられました。プランナーとしてオペラ、演劇、ミュージカル、コンサート、レビューとジャンルを問わず舞台照明のあらゆる分野で数々の作品を手掛け、それぞれの作品が高い評価を得てこられました。現在は日本照明家協会会長として幅広く後進の育成や業界の発展にも寄与しながら、日本の舞台照明の第一人者として変わらぬ熱意をもって新たな照明プランを開拓し続けておられます。ここにこれまでの功績を讃え、今後一層の活躍を願っております。

##### ② 山本 浩一 殿

音響設計の基礎を劇団フォーリーズの公演で学び、その後音響デザイナーとしてのキャリアをスタートしました。ミュージカル「RENT」、栗山民也演出「ゲットー」等の作品にはじまり、最近では「ピアフ」「ジャージー・ボーイズ」「天使にラブ・ソングを」等あなたの活躍は枚挙に暇がありません。緻密な計算によって練り上げられ舞台と客席が一体となるあなたのサウンドデザインは、演劇界になくてはならない存在となりました。ここにこれまでの長年の功績を讃え、今後より一層の活躍を願っております。

③ 島 健 殿

作・編曲家として、また舞台公演の音楽監督として類まれなる手腕を発揮して多くの観客を魅了してきました。作曲を手掛けたオリジナルミュージカル「少年フレディの物語」は大好評を博し、音楽監督を務めた「Down Town Follies」は2002年の初演から11回の上演を重ねています。近年ではミュージカル「ジャージー・ボーイズ」「キンキーブーツ」「フランケンシュタイン」等の作品がお客様からの高い評価を得て、再演を重ねる名作となりました。ここにこれまでの長年の功績を讃え、今後より一層の活躍を願っております。

④ 株式会社 宮本卯之助商店 殿

文久元年の創業以来和太鼓の製造を営みとするなかで演劇、芸能、雅楽における幅広い楽器の製造にも携わり、永年培われてきた確かな技術と伝統芸能に対する真摯な姿勢により、その楽器と音色は演奏者をはじめ携わる関係者の信頼を得てきました。特に歌舞伎黒御簾音楽の楽器製造、修理の技術の継承は歌舞伎上演に不可欠なものとなっています。その大きな貢献をされてこられた事は高く評価されるところであります。ここに長きにわたるその功績を高く評価し、今後より一層の活躍を願っております。

(2) 海外研修への助成

本年度の海外研修は、内外より研修志望者を募り、従来通り各自が日程・行動を自由に設定し、滞在中は各自が責任行動する方法で実施いたしました。協会は往復の航空運賃、宿泊費、観劇チケット代金（上限1名10万円）を助成いたしました。

本年度は計11名が参加し、9名がニューヨーク、2名がロンドンにおいて研修いたしました。今年度で29回目となり、研修参加者の延べ人数は551名となりました。

2020年に確認されました新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していました4名の研修参加が中止となりました。

(3) 新人脚本家養成のための助成

今年度も引き続き「脚本家養成講座」を開講し、「初級コース」4名、「中級コース」15名、「マスターコース」8名の計27名が受講いたしました。

通常の講義以外に、外部より講師を招いて特別講義を1回実施いたしました。演劇の基盤を広げるためには優秀な脚本が求められます。演劇の脚本は一朝一夕に生まれるものではなく、長期的な養成が必要であります。継続して講座を維持

してまいります。

2020年に確認されました新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月以降の講座は休講しております。

## II. 普及事業

### (1) 半額観劇会

東京都、公益財団法人 東京都歴史文化財団、公益財団法人 都民劇場、大阪府、独立行政法人 日本芸術文化振興会、公益財団法人 名古屋市文化振興事業団と本協会とで共催している半額観劇会は、低価格で質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供する事業として、都民、府民、市民から幅広く支持され、演劇人口の裾野を広げております。

本年度は、加盟10劇場の協力を得て、東京地区4回、大阪地区6回、名古屋地区3回、福岡地区7回の合計20回を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東京地区1回、大阪地区1回、名古屋地区の一部が中止となりました。

(東京地区3回、大阪地区5回、名古屋地区3回、福岡地区7回、計18回実施)

東京地区	20,145 人	130,676,750 円	
大阪地区	50,763 人	303,238,500 円	
名古屋地区	3,096 人	20,678,500 円	
<u>福岡地区</u>	<u>8,431 人</u>	<u>67,269,250 円</u>	
合計	82,435 人	521,863,000 円	(税込、観劇料金×販売枚数) (中止による減額分は含まず)

2020年に確認されました新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府からの公演自粛要請を受け公演中止したため、3月以降予定していました半額鑑賞会が中止となりました。

中止による減額分 (東京地区1回、大阪地区1回、名古屋地区の一部)

東京地区	6,274 人	41,360,250 円	
大阪地区	11,237 人	64,592,050 円	
<u>名古屋地区</u>	<u>700 人</u>	<u>4,395,000 円</u>	
合計	18,211 人	110,347,300 円	(税込、観劇料金×返券枚数)

また、2020年4月時点、東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団、公益財団法人都民劇場、大阪府、独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人名古屋市文化振興事業団と本協会とは、普及事業に関わる協定書に調印いたしました。また、独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人名古屋市文化振興事業団と本協会とは、普及事業に関わる取り扱い手数料について覚書に調印いたしました。

#### (2) 学生対象の演劇教室

加盟劇場の観劇と組合せ、学生を対象とした演劇教室を開催し、若年層へ演劇の普及を行いました。

「学生のためのミュージカル教室」を、2019年8月に博多座（参加者100名）にて行いました。

### Ⅲ. 会報の発行

協会の事業及び情報の周知を図るため、会報56号、57号を発行いたしました。会報は会員、賛助会員、所轄官庁、関係団体、演劇評論家、演劇記者、業界紙、舞台関係者等々に配布いたしました。

### Ⅳ. 調査事業

ロンドン劇場協会が作成した加盟52劇場で実施された一年を通じたボックスオフィスデータの調査結果とロンドン劇場協会提携会員の17の準会員劇場の主要事項を内容としている「Box Office Data Report 2017」を入手し、演劇関係者の参考資料として翻訳、編集しました。

また、ぴあ株式会社が事業委託を受けて作成する「ライブエンターテインメント市場調査報告書」の調査・編集に協力しました。その報告書を入手し、加盟劇場と情報を共有いたしました。

### 報告事項

- ① 一般社団法人 日本音楽著作権協会（JASRAC）との音楽著作権料に関する交渉を継続して行う。
- ② 理事の異動  
2019年4月 成毛 由和氏 退任  
2020年3月 株式会社博多座代表取締役社長 貞刈厚仁氏就任、相良直文氏退任

③ 委員の異動

2019年9月 松竹 松本宗大氏、長尾敏和氏就任、安藤拓孝氏退任。

④ 委員会の開催

協会加盟劇場の支配人を委員とする委員会は、協会の事業活動方針を審議するために、2019年度は6月、2020年2月の2回開催いたしました。

以上